

キャラクター名  
中島 白胡

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	キュマイラ		年齢	17	性別
オプション					
覚醒	無知	衝動	飢餓	初期侵食率	29 %
出自	疎まれた子	経験	トラウマ	邂逅	保護者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	37
肉体	6	1	1			8	行動値	3
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	3
精神	0	0	1			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	2		交渉		
回避	2		知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	8r+4	1	LV+8		《破壊の爪》後のデータ
獣爪撃(100%未満)	白兵	12r+4		13		C値8 《完全獣化》《破壊の爪》使用後 侵蝕値4 (組み合わせ ①+③)
獣爪撃(100%以上)	白兵	13r+4		16		C値7 《完全獣化》《破壊の爪》使用後 侵蝕値4 (組み合わせ ①+③)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 噂好きの友人	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
戦闘用人格	P	N		
中島敦	P 幸福感	N 不安		
敦以外の血縁者	P 慕情	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4    残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:キュマイラ	2	2	メジャー	-	-	シンドローム		
効果: クリティカル値を-LV(下限値7)								
完全獣化	2	6	マイナー	至近	自身	自動		
効果: シーン中、【肉体】のダイス+ [LV+2]								
獣の力	4	2	メジャー	-	単体	〈白兵〉		
効果: 攻撃力+[LV×2]								
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 素手のデータを変更								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 戦闘移動する。シーンLV回								
眠れる遺伝子	★							
効果:								
至上の毛並み	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

女子高生。生粋の文学少女でよく図書室にいる優等生。  
 肉体、運動神経のスペックは高いものの、持ち前のどんくささとドジっ子スキルによって台無しになっている。  
 臆病で恥ずかしがりや、お人よしで自分の心配よりも他人の心配をよくしているが、変な所で肝が据わっている。  
 幼稚園の頃にとある事件が起こり、それが原因で大きなトラウマを抱えている。  
 それ以降、家族や親戚に疎まれているが、彼女自身疎まれている理由を知らない。(虐待等もあった)  
 中2の頃に唯一彼女の味方だった10離れている従兄の中島敦に引き取られて一緒に生活するようになり、現在は充実した学園生活をおくっている。

幼稚園の頃の事件以降、もう一人の自分を視認出来るようになり、鏡などの自分の姿を映すような物があればその『彼』と対話出来る。  
 『彼』は男性的な性格をしており、彼女を守ることを優先しており、彼女のもう一人の保護者。  
 『彼』はレネゲイドの操作に優れ、彼女本来の身体のスペックを十全に扱うことが出来る。  
 『彼』は他の人には白虎(びゃっこ)と名乗っている。  
 基本的に戦闘は『彼』がしている。  
 記憶共有は、日常的なものは共有されているが、戦闘時の記憶は、戦闘結果と周りの状況、味方の状態しか共有されず、戦闘中の細かい情報は『彼』によってフィルタリングされている。

従兄はUGNの職員でオーヴァードだが、彼女に隠している。

彼女自身はただの二重人格だと思っているが『彼』はちゃんとオーヴァードだと自覚している。そのため、『彼』は彼女を守るためにレネゲイド関連にはかかわらせたくないと思っている。  
 けど、彼女はお人よしなため事件にかかわろうとしてしまうので、『彼』は戦闘以外は彼女の好きにさせている。  
 『彼』は彼女に甘い。